

年 組 名前:

# クマ目撃331件 最多

## 本年度 県、注意喚起へ地図公開

2024年度に山梨県内の市町村に寄せられたツキノワグマの目撃情報は331件(27日現在)で、現在の統計方法になった16年度以降で過去最多となったことが県のまとめで分かった。県は28日からクマの出没場所が分かるマップを県ホームページ(HP)で公開し、注意喚起を強化している。

県自然共生推進課によると、24年度のクマの目撃情報は4月に9件、5月に27件、6月に90件、7月に56件、8月に44件、9月は39件、10月は38件、11月は27日までに28件の目撃があった。すでにこれまでで最多だった19年度(246件)を85件上回っている。若いクマが行動範囲を広げる6、7月は観光施設などで同一のクマが複数回目撃され、秋の行楽シーズンも目撃が続いているという。捕獲頭数は例年と大きく

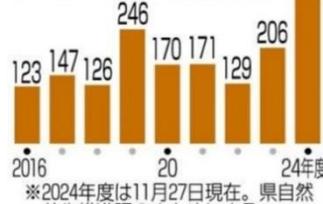
変わらず、「クマの数自体が増えたのか、行動が変化したのかは分からない」としている。

県は注意喚起のためにクマの出没場所が分かるマップを作成。19年度以降の出没場所を地図に表示し、年度ごとの出没状況や直近1カ月の目撃場所も分かる。目撃時間や頭数、推定年齢なども確認できる。マップは市町村からの目撃情報を踏まえ、順次更新するという。

県では9月にX(旧ツイッター)で専用アカウントを開設し、クマの目撃情報を速報。県民や観光客にクマの出没する地域への立ち入りを避けるよう、注意を呼びかけている。

例年、12月以降は冬眠期に入っていくため、目撃情報は減るといふ。ただ、23年度は12月も目撃情報が9件寄せられた。同課担当者は「マップ

近年の県内におけるツキノワグマの目撃情報



を見れば県内全域で生息していることが分かる。遭遇を回避するための情報として、公開したマップを活用してもらいたい」と呼びかけている。

〈雨宮文貴〉

(2024年11月29日付 山梨日日新聞1面)

問1

2024年度、山梨県内でツキノワグマの

目撃情報が、16年度以降で過去最多となりました。

4月から11月までで、一番多かった月と目撃件数を

教えてください。

・月: ..... ・目撃件数: .....

問2 県は、どのような方法で情報を配信していますか。

.....

問3 クマと遭遇しないためには、どのような注意が必要ですか。

.....